



TOMODACHI

FamilyMart



若者たちの想いが紡ぐ 未来への道すじ



東北から全国へ、そして世界へ//

TOMODACHI ファミリーマート SDGs リーダーシッププログラム in 東北

参加者の決意・想い



東北の地域課題に取り組む若者たちを全力で支援!

東日本大震災から10年が経過し、東北地方の復興は新たなステージに入ったが、少子高齢化や地域産業の衰退などが進み、若者の域外流出も問題となっている。そこで立ち上がったのが、「TOMODACHI ファミリーマート SDGs リーダーシッププログラム in 東北→東北から全国へ、そして世界へ」。東北(本プログラムでは岩手・宮城・福島の3県)の地域課題解決に取り組み、SDGsに貢献している若者たちに向かって、世代を超えて支えあう仲間の輪を広げ、熱い想いを実践するためのオンライン支援プログラムだ。農業、教育、空き家活用、コミュニ

ティーの構築など、多様な分野で挑戦している若者たちが参加。11月6日には中間報告会を兼ねたビーチ&プレスタイルを開催。18名が自身の取り組みやフレンドを披露した。参加者同士アピールバーや応援をしまい、アクションをより具現化するためのアイデアを得た。12月9日に行われたクロージングイベント「応援しあう東北スペシャルライブ」には一般の視聴者を含め180名が参加。討論会や各種表彰が行われた。プログラム参加者は、今後も世界に誇れる東北を築くために奮闘を続ける。

詳細はコチラ▶



「応援しあう東北スペシャルライブ」アワード

FamilyMart SDGs リーダーシップ賞

東北の社会課題に取り組む参加者、またはそれを期待している参加者

石牧麻汰さん

宮城県石巻市北上町でかほちゃんを生産
交流人口を増やす取り組みで地元の活性化図る

松田泰知さん

宮城県黒川郡大衡村の社会経済価値最大化へ
ひととのつながりで持続可能なまちづくり

山越雷志さん

参加者が取り組む地域課題の視覚化
グラフィックコーディングで貢献

応援しあう東北賞

このコミュニティに一番貢献した人を事務局と参加者で選出

富樫司さん

福島県内の食品ロス削減へ
多角的視点でのウェブサイト公開

[選定理由・講評]

地域課題解決のために、自ら進んで取り組みを行ったことを評価。
持続可能な社会につながるアクション内容に留まらず、地域内外の多様な人たちが協力することで本プログラムの理念である「応援しあう」を体現する姿勢を支持。今後の活動の領域拡大にも期待を寄せた。なお、受賞者には10万円の副賞が贈呈された。

TOMODACHI GO ABROAD賞

世界に向けて胸中を押したい、
世界に向かってもっと発信してほしい参加者

長友海那さん

ヒカリ、稚苗代町で「かっこいい」を観光資源に
独自のアイデアで商品・サービス化で世界へ発信

プログラム

内容

復興からさらなる挑戦に目立出した東北を舞台に、SDGsをテーマに社会課題に取り組む若者の87名が集い、地域を基盤とする先駆者や仲間に出会い、活動への志を高めた。

応援しあう東北アカデミー

(8月12日・13日)

アクションコース

(8月31日・12月8日)

応援しあう東北スペシャルライブ

(12月9日)

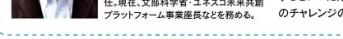
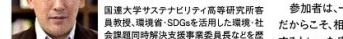
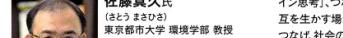
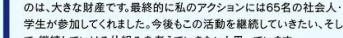
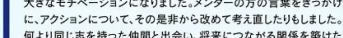
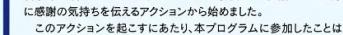
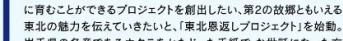
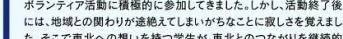
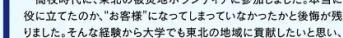
TOMODACHIイニシアチブとは

東日本大震災からの復興支援から生まれ、教育、文化交流、リーダーシップといったプログラムを通して、日本米国の次世代のリーダーの育成を目指す米日カウンシルと在日米国大使館が主導する官民パートナーシップで、日本国政府の支援も受けています。日米関係の強化に深く関わり、互いの文化や国を理解し、より協調的で繁栄した安全な世界への貢献と、そうした世界での成功に必要な、世界中で通用する技能と国際的な視点を備えた日米の若いリーダーである「TOMODACHI世代」の育成を目指しています。



参 加 者 の 声

第2の故郷である東北とずっと関わり続けたい



有識者のコメント

チャレンジの好循環を生み出すエコシステムの構築へ

佐藤真久氏
(さとうまさひさ)
東京都市大学 環境学部 教授

国連教科文機関SDGsを活用した環境・社
会課題同時対応解決事業委員会を監
修。現在、文部科学省・ユネスコ共創
プラットフォーム事業座長などを務める。

チャレンジの好循環には、共に取りたい姿を描く「ザイン思考」、つながりを行って生かす「システム思考」、相
互に生き残す場所が不可欠である。本プログラムはこれらをつなげ、社会のエコシステムの構築に貢献している。

参加者は、一人では何もできないことを認識している。だからこそ、相手の力を借り、相手にも自身の力を提供
するといった応援しあう関係性を大切にしている。今後のチャレンジの好循環に期待をしたい。

ファミリーマートによる支援

ファミリーマートは、店頭募金「夢の掛け橋募金」を通して、未来をつくる

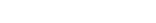
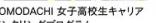
世代への育成支援プログラムを提供しています。TOMODACHIイニシアチブへ

の寄付は、2013年から実施され、「TOMODACHI女子高校生キャリアメンタリ

ングプログラム」などによって、東日本大震災からの復興を指す。東北の高

校生へのキャリア支援を行いました。今後も、若い世代への支援などを社会貢献活動の

中心として、持続可能な地域社会の発展のために取り組みを続けています。



公益財団法人 米日カウンシルジャパン

<https://www.usjapanccouncil.org/ja/>

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS